

函南町拠点循環バス運行計画について

1 運行計画について（協議）

(1) ルート

令和3年3月26日開催の函南町地域公共交通会議において承諾をいただいた、「函南町役場⇄道の駅伊豆ゲートウェイ函南」の往復ルートとする。

(2) ダイヤ

- ① 運転手の休憩時間を考慮し、第4便終点（函南町役場）到着時刻11時58分と第5便発車時刻13時54分とした。
- ② 1日あたりの運行本数8往復は変更せず、昼の時間を空けることで、始発の時間を30分程度早めることとなった（6時46分始発）。前回会議において、課題として挙げられた通学、通勤の時間帯の運行本数を増やした。
- ③ 各便は交通結節点として位置付ける伊豆仁田駅での待ち時間を10分以内で設定。「函南町役場」の到着時刻と、伊豆箱根バス「岐れ道」の乗換についても配慮。

(3) バス停位置

ルート図及びダイヤに表示のとおり21箇所を予定。停留所の具体的な設置方法については、沿線地域の意見集約後（9月中旬）に施設管理者、警察と協議の上、確定する。

① 各施設との協議状況について

ア 函南町役場

庁舎東側ロータリーにバス停設置予定。

イ 湯〜トピアかなみ

施設駐車場内にバス停設置予定。施設指定管理者は概ね了承。休館日の施設が課題（業務仕様書の変更により対応可と考える）。

ウ 道の駅伊豆ゲートウェイ函南

バス停設置希望位置は町産業振興課経由で施設管理者に連絡済。運行事業者決定後、施設と詳細協議。

(5) 運賃

① 片道普通旅客運賃

1 乗車 200円

② 回数旅客運賃

「道路運送法に基づく協議が調っていることの証明書」を参照

③ 定期旅客運賃

「道路運送法に基づく協議が調っていることの証明書」を参照

(6) 運行事業者の決定方法

9月7日執行予定 制限付一般競争入札

(契約期間は令和4年3月31日まで)

(7) 運行開始時期

令和3年11月中

(8) 路線評価方法

(評価時期は実証運行開始1年後を想定)

①伊豆仁田駅利用者数(1日平均)

直近2年度分の利用者数の平均値を参考とする。(ただし、コロナによる影響を勘案し10人未満を切捨て)

平成30年度 1日平均 1,619人(コロナによる影響なし)

令和元年度 1日平均 1,597人(コロナによる影響あり)

目 標 1日平均 1,600人

②1運行あたりの利用者数

平成27年度に実施した実証実験(西部コミュニティセンター・塚本・仁田循環)と、バス路線として定着している伊豆箱根バスの利用者数を基に算出(平均値端数切上げ)。

H27年度実証実験 平日0.5人/本 土曜日0.5人/本 日曜日1.9人/本

畑毛線(平均値) 平日6.4人/本 土曜日3.9人/本 日曜日4.0人/本

目標 平日4.0人/本 土曜日3.0人/本 日曜日3.0人/本

2 各地域への説明状況について（報告）

コロナの感染拡大による、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言を受け、8月中に開催予定であったルート沿線地区自治会（住民向け）の説明会について、規模縮小（役員のみ参加）や延期または資料のみ配布となっています。

バス停の配置については、地域住民の意見が重要であると考えていることから、本会議終了後（9月中旬まで）に沿線地域の意見を取りまとめ、事務局としての配置を決定します。

3 書面による承諾について（伺い）

沿線地域の意見集約に遅れが生じており、バス停留所の設置について、道路管理者、土地所有者、警察との協議が遅れています。

ルートについては本案により運行する旨を7月開催の区長会において周知しました。

9月初旬に運行事業者が決定し、9月中旬までに各地域のバス停位置に関する意見を取りまとめ、本会議にバス停位置及び運行ダイヤについて諮り、最終的な協議会としての承諾とさせていただきたいと考えています。